

第3章 基本目標

ちば文化の創造と千葉県民のアイデンティティーの醸成でつくる心豊かな県民生活と活力ある千葉県

文化芸術は、県民が真にゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現していくうえで、欠かせないものです。そして、個人としての、また様々な団体や組織の一員としての、誇りやアイデンティティーを醸成する、心の拠り所となるものです。

また、文化芸術は、社会へ影響力をもつ「ソフトパワー」として、人々を魅了するだけでなく、教育、福祉、地域づくり、産業など、社会のあらゆる分野とかがわりのある創造的な経済活動の源泉であり、地域社会を持続的に発展させ、県民の活力を高めていくものでもあります。たとえば、地域に根差した郷土芸能は、観光振興など地域の活性化にもつながる貴重な財産ということができます。

一方、千葉県には、古くから伝えられた文化と、全国各地から移り住んだ人びとによってもたらされた文化、そして、県内各地で取り組まれている新しい文化など、さまざまな文化があります。「ちば文化」とは、千葉県内のこうしたさまざまな文化が互いに触発し合い、やがて醸成されていく、多様で豊かな文化です。文化芸術の担い手である県民一人ひとりの文化への思いや取り組みが、県全体を包み込む大きな力となって、新たな「ちば文化」が今も絶え間なく創造されています。

県では、「ちば文化」に親しめる環境をつくるとともに、「ちば文化」を継承し、新たな「ちば文化」を創造していくため、県民をはじめ、関係団体や市町村などと連携して文化芸術活動を支える環境整備をしていきます。そして、「ちば文化」の創造を通して、県民の千葉県に対する愛着や誇りをはぐくみ、千葉県民のアイデンティティーを醸成していきます。さらにこういった取り組みを通して、心豊かに暮らせ、活力ある地域社会をつくり、「暮らし満足度日本一！」を感じ、誇れる千葉を実現します。

芸術や文化に親しむ機会に満足している県民の割合

現状 23.1% → 目標値 28.0%
(平成22年度) (平成27年度)

※ 総合計画「輝け！ちば元気プラン」の社会指標

平成24年度において芸術や文化に親しむ機会に満足している県民の割合…25%